

施策体系シート(行政経営Bシート)

作成者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	能登 茂和
評価者	組織	公園緑地課	職	課長	氏名	能登 茂和

	施策の目標	成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		評価
					(年度)	(年度)	
施策3	兼六園周辺文化の森の保全と整備	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	6,085 (R4)	1,960 (R3)	4,509 (R4)	D

施策の目標達成に向けて重点的に取り組むべき課題							課題に対する主な取り組み				評価		
施策	課題		成果指標	単位	目標値 (年度)	現状値		事務事業	対象	予算 (千円)	決算 (千円)	事業の有効性	今後の方向性
						(年度)	(年度)						
施策3	課題1	兼六園・金沢城公園の利活用の推進	兼六園・金沢城公園の入園者数	千人	6,085 (R4)	1,960 (R3)	4,509 (R4)	城と庭の魅力発信事業費	県民	26,881	19,774	B	見直し

事務事業シート(行政経営Cシート)

事務事業名: 城と庭の魅力発信事業費	事業開始年度: H14	事業終了予定年度:
	根拠法令・計画等: 都市公園法	

作成者	組織: 公園緑地課
	職・氏名: 課長補佐 小倉 恵子
	電話番号: 076 - 225 - 1774 内線 5264

1 事業目的
「学習」「案内」「もてなし」の三本柱により金沢城公園と兼六園の魅力を国内外に発信する。

2 事業概要
昼の魅力アップとして金沢城公園内の重要文化財の特別公開にあわせてボランティアガイドを増員等しているほか、夜には鶴の丸休憩館のミニコンサート、兼六園の夜間開園など、新幹線開業後に増加している国内外の観光客への更なるサービスの向上に努める。

【学習事業】
・継続 「城と庭の探求講座」全10回程度開催

【案内事業】
・継続 ボランティアガイド、外国人向けガイドの常駐(石川門入口休憩所、玉泉庵休憩所、鶴の丸休憩館)
・〃 重要文化財「石川門」「三十間長屋」「金沢城土蔵(鶴丸倉庫)」の特別公開(土日・行楽期等)

【もてなし事業】
・継続 春 端午の節句を祝う、兼六園開園記念日事業
・〃 夏 ひやくまんさん茶会(金沢城公園)
・〃 秋 工作体験教室など(金沢城公園)
・〃 冬 鷹匠による放鷹術の実演など
・〃 四季 四季の花巡りツアー
・〃 四季 鶴の丸イブニングライブ(金沢城公園)

施策・課題の状況						
施策	兼六園周辺文化の森の保全と整備	評価	D			
課題	兼六園・金沢城公園の利活用の推進					
	指標	兼六園・金沢城公園入園者数	単位	千人		
	目標値	現状値				
	令和4年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
	6,085	4,951	4,875	2,227	1,960	4,509

事業費						
(単位:千円)	平成30年度	令和元年度	平成2年度	平成3年度	令和4年度	
事業費	予算	26,881	26,881	26,881	26,881	26,881
	決算	21,077	25,501	16,161	14,946	19,774
一般	予算	14,381	14,381	14,381	14,381	14,381
財源	決算	11,346	13,660	8,787	8,223	10,665
事業費累計		151,435	176,936	193,097	208,043	227,817

評価	
項目	評価
	左記の評価の理由
事業の有効性 (費用対効果の観点も含め、この事業が課題解決に役立ったか)	B 新型コロナウイルス感染症拡大に伴う影響により減少していた来園者数は、コロナ前の令和元年と比較すると、92%程度となり、回復傾向にある。令和4年度目標値と比較すると、74%程度ではあるが、アンケート調査における満足度については、ほぼ全ての利用者に満足しているとの回答をいただいた。(アンケート結果:満足・概ね満足 約99%)
今後の方向性 (県民ニーズ、緊急性、県関与のあり方等を踏まえ、今後どのように取り組むのか)	見直し 金沢城公園・兼六園の多様な魅力を国内外に発信するため、引き続き、ホームページによる情報発信や探求講座の開催、重要文化財である「石川門」「三十間長屋」「金沢城土蔵(鶴丸倉庫)」の特別公開など行う。また、ひやくまんさん茶会や花巡りツアーなど四季折々のおもてなし事業に加え、R5は、より金沢城への理解を深めていただけるよう、三十間長屋屋根修理や二の丸御殿の発掘調査、丸の内園地の石垣修理など、実際の修理や調査の状況を見学、体験できるイベントを開催し、魅力向上を図る。